

# 手賀沼流域

## 協働調査結果(令和4年度)

### 河川

【大堀川流域】  
COD濃度の平均値が4.7mg/Lを示した。他流域よりも市街地の割合が大きく、上流の一部の地点で高い値を示す傾向がある。

注:大堀川における調査地点No.の枠内が赤塗り白文字になっている地点については、大堀川に合流する直前の樋管等に観測した値を示す。

手賀沼流域の各河川調査地点で、令和4年度に実施した春季(6~7月)・冬季(12月)のバックテストによるCOD濃度調査結果の平均値をまとめました。  
※1 全34地点(No.17は欠番)  
※2 バックテスト®は、(株)共立理化学研究所の登録商標です。

#### 【参加団体】

我孫子市消費者の会、我孫子野鳥を守る会、印西市環境推進市民会議、エコライフあびこ、江戸川大学、大津川をきれいにする会、大堀川の水辺をきれいにする会、岡発戸・都部の谷津を愛する会、柏市環境保全協議会(パワーテック(株))、鎌ヶ谷・大津川を清流にする会、亀成川を愛する会、神崎川を守るしろいハコブの会、旧ふれあい手賀沼の会、せつけんの街

※五十音順

柏市、我孫子市、印西市、流山市、鎌ヶ谷市、白井市、千葉県(事務局:環境生活部水質保全課)

#### 大堀川流域



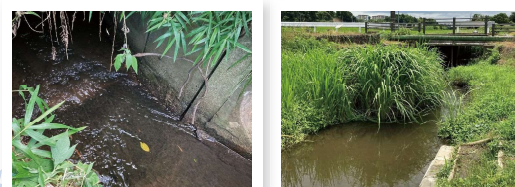
No.9 導水注入前、No.10 導水注入後、No.11 後原上樋管、No.12 天神前樋管、No.13 西前田樋管、No.14 高田緑地前、No.18 地金堀合流前、No.19 地金堀樋管、No.20 地金堀合流後

#### 染井入落流域

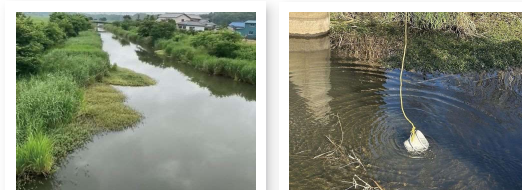


【湖北集水路流域】  
COD濃度の平均値が9.8mg/Lを示した。

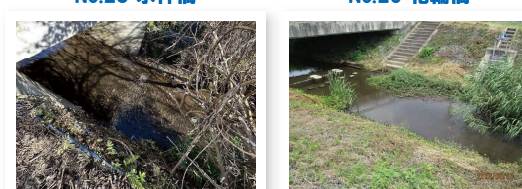
#### 湖北集水路流域



#### 亀成川流域



No.28 水神橋、No.29 花輪橋



No.30 別所青年館、No.31 古新田第四橋



No.32 滝、No.33 京免一橋

【大津川流域】  
COD濃度の平均値が4.3mg/Lを示した。

【染井入落流域】  
COD濃度の平均値が4.0mg/Lを示した。

【金山落流域】  
COD濃度の平均値が9.5mg/Lを示した。

【亀成川流域】  
COD濃度の平均値が3.2mg/Lを示した。調査開始以降、他流域よりもCOD濃度の値が低い傾向にある。

#### “COD”とは…

CODは、水中の有機物を酸化する際に必要な酸素量で、値が大きいほど水が汚れていることを示します。CODが高いほど水中の酸素が多く消費されて溶存酸素が減少し、微生物による自然浄化が阻害されたり、生物が生存しにくい環境になります。  
CODの汚濁負荷源は、主に生活排水や事業場排水、市街地の路面等です。また、植物プランクトンが沼で増えるとCOD値を高めます。近年の削減対策により、特に生活排水の汚濁負荷は大きく減りましたが、市街地の路面等からの汚濁負荷は減少していません。

もっと知りたい人は…



手賀沼水環境保全協議会  
<https://www.tesuikyo.jp/>

#### 凡例

- < COD(mg/L)>
- 0以上~2未満
  - 2以上~4未満
  - 4以上~6未満
  - 6以上~8未満
  - 8以上~10未満
  - 10以上~12未満
  - 12以上
  - 欠測地点
- 市町村界
- 手賀沼流域水系
- 手賀沼流域界
- 北千葉導水路
- 北千葉導水注水地点
- 水田
- <下水道整備地域>
- 手賀沼処理区域(〜H30.3)
- 印旛沼処理区域(〜H26.3)

作成・発行:手賀沼水環境保全協議会(2023年7月)